

【FdData 中間期末：中学社会公民】

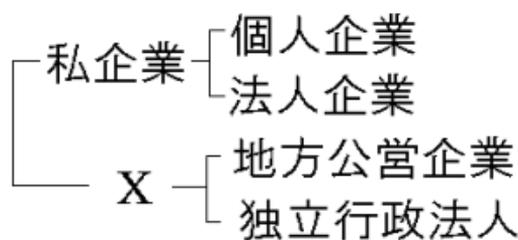
[企業の分類]

◆パソコン・タブレット版へ移動

[私企業と公企業]

[問題](3 学期改)

右図のように、
企業は私企業と
(X)に分類さ



れる。私企業は利潤を目的とする企業で、さらに、法人企業(株式会社など)と個人企業に分けられる。(X)は地方公営企業(水道・ガス・県営(市営)バスなど)や独立行政法人(国際協力機構など)のような利潤を目的としない企業である。文中の X に適語を入れよ。

[解答]公企業

[解説]

企業は大きく分けて、私企業と公企業に分類される。

[企業の種類]

私企業	個人企業 法人企業
公企業	地方公営企業 独立行政法人

私企業は利潤を得ることを目的としている。私企業はさらに、法人企業と個人企業に分かれる。法人企業の中で代表的なものが株式会社である。個人企業には、農家や個人商店などがある。

公企業は利潤を目的としていない。公企業には次のようなものがある。

- ・地方公営企業：水道，ガス，県営(市営)バスなど
- ・独立行政法人：造幣局，国立印刷局，国際協力機構(JICA)

※出題頻度：「私企業○」「公企業◎」「次から公企業(私企業)を選べ○」

[問題](3 学期)

次の各問いに答えよ。

- (1) 利潤を目的とする民間の企業を何と
いうか。
- (2) 地方公共団体などが経営する利潤を
目的としない企業を何と
いうか。

[解答](1) 私企業 (2) 公企業

[問題](後期期末)

次の各問いに答えよ。

- (1) 国や地方公共団体，独立行政法人が経営し，利潤を目的とせず公共の利益を目的とする企業を何とというか。
- (2) (1)の企業にあてはまるものを次の
[]からすべて選べ。
[農家 国際協力機構 新聞社
水道 県営バス]

[解答](1) 公企業

(2) 国際協力機構，水道，県営バス

[問題](後期期末)

次の文章を読み、各問いに答えよ。

企業には、利潤を目的に活動する
(①)企業と、利潤を目的としない
(②)企業とがある。わが国の経済は、
(③)主義経済といって、(①)企業の代
表である株式会社を中心に(③)をもとに
利潤を得るために生産活動を行っている。

(1) 文章中の①～③に適語を入れよ。

(2) (②)企業にあてはまるものを、次か
ら1つ選べ。

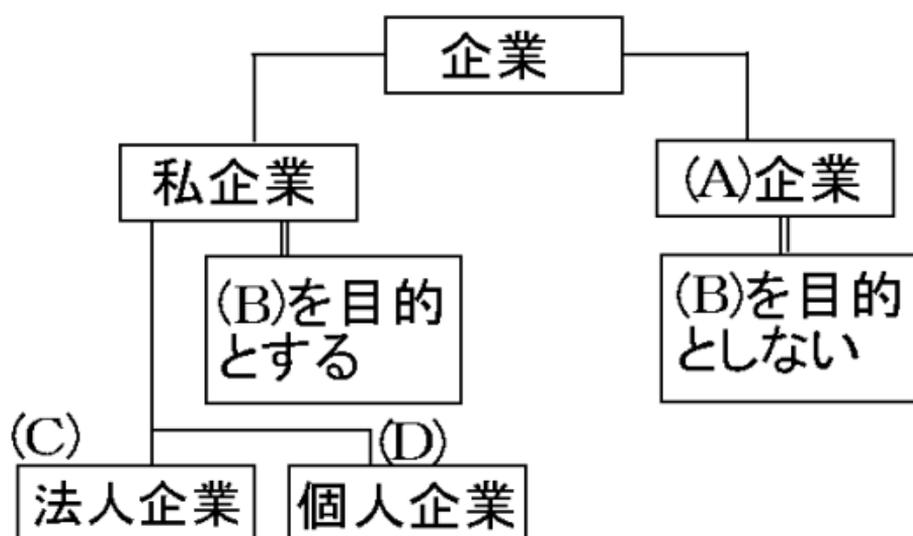
[水道事業 新聞社 信用金庫
JR]

[解答](1)① 私 ② 公 ③ 資本

(2) 水道事業

[問題](2 学期期末)

次の各問いに答えよ。

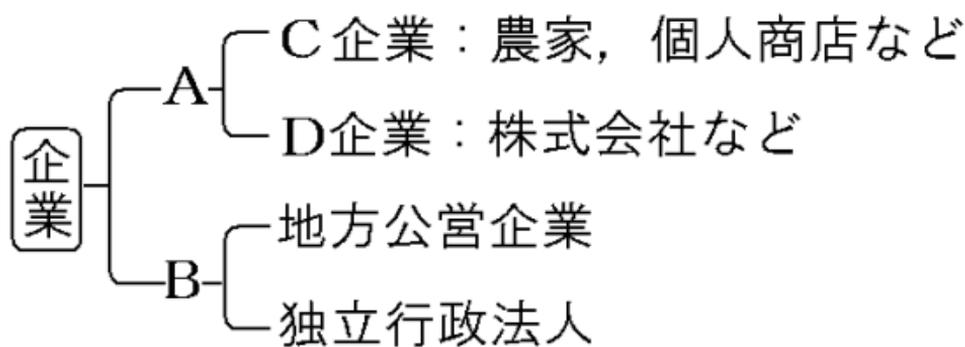


- (1) 図の A, B にあてはまる語句を書け。
- (2) 一般の農家は C, D のどちらの企業に属するか。記号で答えよ。

[解答](1)A 公 B 利潤 (2) D

[問題](3 学期)

次の資料中の A～D に適語を入れよ。



[解答]A 私企業 B 公企業 C 個人
D 法人

[問題](2 学期中間)

次の文章中の①～⑥に適語を入れよ。

企業が資本を使って、(①)を得ることを目的に生産活動を行うのが(②)経済である。多くの企業は、(①)を目的にした(③)であるが、地方公営企業など(①)を目的にしない企業は(④)と呼ばれる。(③)は、農家や個人商店などの(⑤)企業と、会社の形式をとる(⑥)企業とに分けられる。(⑥)企業の中でも代表的なものが株式会社である。

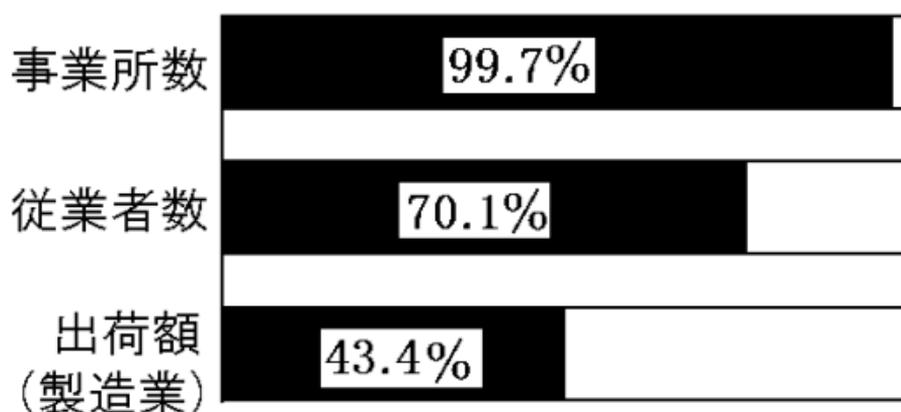
[解答]① 利潤 ② 資本主義 ③ 私企業 ④ 公企業 ⑤ 個人 ⑥ 法人

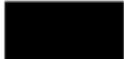
[大企業と中小企業]

[問題](3 学期)

次のグラフで、中小企業にあたるのは A, B のどちらか。

大企業と中小企業の割合(2018年)



A  B 

[解答]A

[解説]

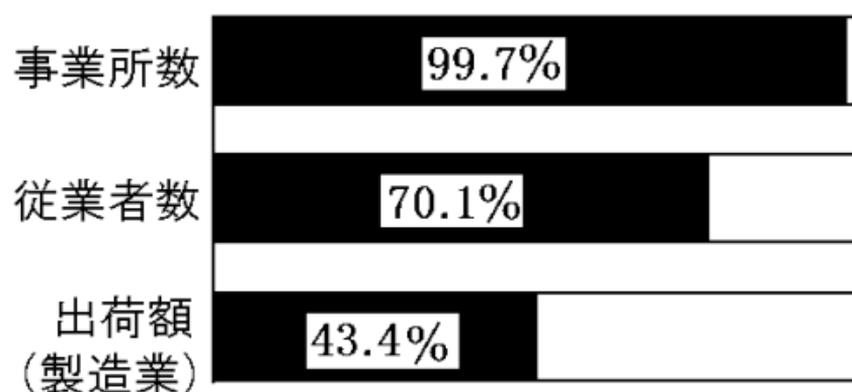
[中小企業]

出荷額で約43%

従業者数で約70%

事業所数で99%以上

中小企業の日本経済に占める割合(2018年)



資本金や従業者数などによって、企業は大企業と中小企業に分類される。日本では、中小企業の占める割合が高い。出荷額(製造業)では約43%であるが、従業者数では約70%、事業所数では99%以上を中小企業が占める。

一般に、中小企業は大企業と比べて生産性が低く賃金も安い。しかし、大企業に負けない高い技術力を持つ中小企業もたくさんあり、日本のものづくりを支えてきた。情報通信分野における急速な^{ぎじゅつ}技術_{かくしん}革新は、中小企業に新たな事業の機会をもたらしており、独自の技術などを基に新たに事業を起こすベンチャー企業も見られる。グローバル化が進むにつれて、市場と安い労働力を求めてアジアなど海外に進出する中小企業も現れている。

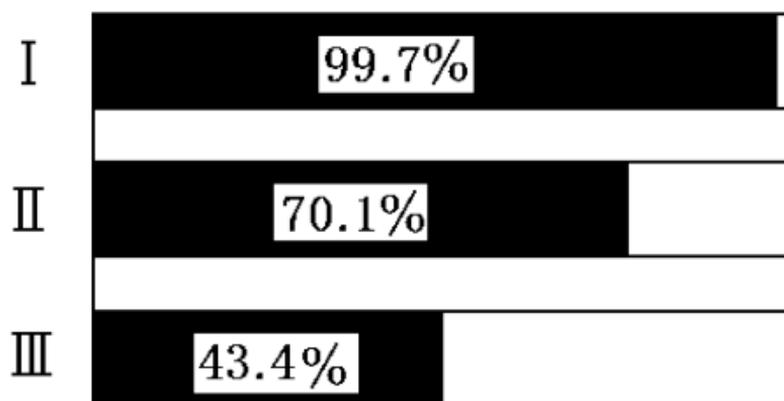
※出題頻度:「中小企業の日本経済に占める割合のグラフを使った問題○」

「ベンチャー企業○」

[問題](2 学期期末)

企業には、大企業と中小企業がある。
次の図は、中小企業の日本経済に占める割合について、従業員数、出荷額、事業所数を示したものである。Ⅰ～Ⅲは、それぞれ従業員数、出荷額、事業所数のうちのどれか。

中小企業の日本経済に占める割合(2018年)

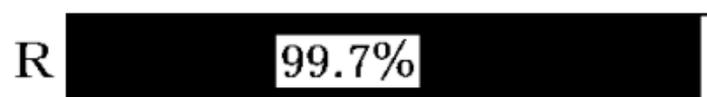
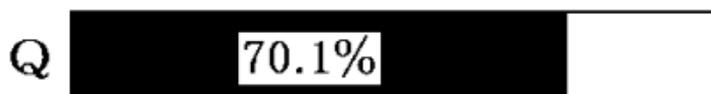


[解答] Ⅰ 事業所数 Ⅱ 従業員数
Ⅲ 出荷額

[問題](入試問題)

次の資料の P~R は、製造業の、事業所数、従業者数、製造品出荷額のいずれかを示し、a, b は、大企業か中小企業のいずれかである。各問いに答えよ。

大企業と中小企業の割合(2018年)



a.  b 

- (1) 事業所数と製造品出荷額を示すものを、P~R から 1 つずつ選び、記号で答えよ。
- (2) 中小企業を示すのは、a, b のどちらか、記号で答えよ。

(福岡県)

[解答](1)事業所数：R 製造品出荷額：P

(2) a

[問題](後期中間)

中小企業でも自社の持つ高い技術を生かし、可能性を求めて新事業をおこす企業がある。このような企業を何というか。

[解答]ベンチャー企業

[問題](後期期末)

次の各文は、現代の日本企業の特徴について述べたものである。文中の①～⑤に適語を入れよ(または、()内より適語を選べ)。

- 日本の企業数の 99%以上は、①(大企業／中小企業)である。従業者 1 人当たりの出荷額が多いのは、②(大企業／中小企業)である。そのため②の方が従業者 1 当たりの生産性が(③)く、1 人当たりの賃金も③い。
- 技術の新しい可能性を求めて事業を起こした企業は(④)企業と呼ばれ、日本経済を活性化させることが期待されている。
- (⑤)化が進むにつれて、海外に進出したり、商品の新しい販売先を探したりする中小企業も現れている。

- [解答]① 中小企業 ② 大企業 ③ 高
④ ベンチャー ⑤ グローバル

[問題](後期期末)

日本の中小企業の現状について述べた

①～⑤の各文について、正しいければ○、間違っていれば×を記入せよ。

- ① 日本の企業のほとんどは中小企業である。
- ② 中小企業は大企業と比べて生産性が低く、賃金が安い。
- ③ 世界で起こっている IT 革命は、中小企業の経営に深刻なダメージを与えている。
- ④ 日本の中小企業の中には、市場と安い労働力を求めてアジアなどへ進出しているものも少なくない。

[解答]① ○ ② ○ ③ × ④ ○

[解説]

③が誤り。情報通信分野における急速なぎじゅつかくしん技術革新は、中小企業に新たな事業の機会をもたらしており、独自の技術などを基に新たに事業を起こすベンチャー企業も見られる。

【各ファイルへのリンク】

社会地理

[\[世界1\]](#) [\[世界2\]](#) [\[日本1\]](#) [\[日本2\]](#)

社会歴史

[\[古代\]](#) [\[中世\]](#) [\[近世\]](#) [\[近代\]](#) [\[現代\]](#)

社会公民

[\[現代社会\]](#) [\[人権\]](#) [\[三権\]](#) [\[経済\]](#)

理科1年

[\[光音力\]](#) [\[化学\]](#) [\[植物\]](#) [\[地学\]](#)

理科2年

[\[電気\]](#) [\[化学\]](#) [\[動物\]](#) [\[天気\]](#)

理科3年

[\[運動\]](#) [\[化学\]](#) [\[生殖\]](#) [\[天体\]](#) [\[環境\]](#)

【FdData 中間期末製品版のご案内】

このPDFファイルは、FdData 中間期末をPDF形式(スマホ用)に変換したサンプルです。製品版のFdData 中間期末はWindows パソコン用のマイクロソフトWord(Office)の文書ファイル(A4版)で、印刷・編集を自由に行うことができます。

◆FdData 中間期末の特徴

中間期末試験で成績を上げる秘訣は過去問を数多く解くことです。FdData 中間期末は、実際に全国の中学校で出題された試験問題をワープロデータ(Word 文書)にした過去問集です。各教科(社会・理科・数学)約1800～2100ページと豊富な問題を収録しているため、出題傾向の90%以上を網羅しております。

FdData 中間期末を購入いただいたお客様からは、「市販の問題集とは比べものにならない質の高さですね。子どもが受け

た今回の期末試験では、ほとんど同じような問題が出て今までにないような成績をとることができました。」、「製品の質の高さと豊富な問題量に感謝します。試験対策として、塾の生徒に FdData の膨大な問題を解かせたところ、成績が大幅に伸び過去最高の得点を取れました。」などの感想をいただいております。

◆サンプル版と製品版の違い

ホームページ上に掲載しておりますサンプルは、製品の全内容を掲載しており、どなたでも自由に閲覧できます。問題を「目で解く」だけでもある程度の効果をあげることができます。しかし、FdData 中間期末がその本来の力を発揮するのは印刷ができる製品版においてです。印刷した問題を、鉛筆を使って一問一問解き進むことで、大きな学習効果を得ることができます。さらに、製品版は、すぐ印

刷して使える「問題解答分離形式」、編集に適した「問題解答一体形式」、暗記分野で効果を発揮する「一問一答形式」(理科と社会)の3形式を含んでいますので、目的に応じて活用することができます。

[FdData 中間期末の特徴\(QandA 方式\)](#)

◆FdData 中間期末製品版の価格

社会地理, 歴史, 公民 : 各 7,800 円

理科 1 年, 2 年, 3 年 : 各 7,800 円

数学 1 年, 2 年, 3 年 : 各 7,800 円

ご注文は電話, メールで承っております。

[FdData 中間期末\(製品版\)の注文方法](#)

※パソコン版ホームページは, Google
などで「fddata」で検索できます。

※Amazon でも販売しております。

(「amazon fddata」で検索)

【Fd 教材開発】 電話 : 092-811-0960

メール : info2@fdtext.com